

題字 内田 英章 さん

## 第97号

2016年9月30日発行

高槻ライフケア協会

## 遺跡から見た高槻の歴史

郷土史家 大船 孝弘

大阪と京都のちょうど中間に位置する高槻市は、大阪のベッドタウンとして約35.5万人が暮らす大都市です。しかし、昭和32年頃、私が引越してきた当時の高槻市は、冬には岡本・塚原地区で学校行事として「ウサギ狩り」が行われ、夏にはゲンジボタルの乱舞が国道171号線付近でも見られる緑豊かな田園都市でした。その後、昭和40年代初めに入ると、日本の経済成長も大きく飛躍し、都会で働く人口の増加現象がおこり、市内各所でも大規模な宅地開発が進められてきました。その結果、開発に伴う工事で多くの遺跡や遺物が発見され、高槻市の古代史があきらかになってきました。

高槻市が発展した要因の一つは、奈良・平安時代から摂津・河内・和泉・大和・山城地域を五畿内と呼び、平城京などの都に近く、近畿地方の中でも特に重要な位置を占めてきたからです。また、高槻市の地形は、北辺に北摂連山の美しい山並みが六甲山系まで続き、北部の丹波地域と分けられています。南辺は広大な大阪平野が淀川まで

広がり、さらに河内平野と続いています。気候は瀬戸内気候区に属し、温暖で住みやすいところです。

それでは、先人が残した多くの足跡や遺跡の調査を通して、古代の歴史を簡単に述べたいと思います。

旧石器時代(約2万年前)では、段丘上や丘陵先端部にキャンプ地をつくり、ナウマン象などの大型動物を集団で狩猟していたようです。府立三島高校近くの郡家今城遺跡では、多数の石器と共に調理用の炉跡が発見されましたが、調理用の土器はまだ使われてなかったようです。出土した石器のなかには、新潟県の佐渡島や富山県産の石が使われていることから、長距離を移動して狩猟生活をしていたことが推測されます。

縄文時代では、淀川と接する低地の柱本遺跡や段丘上の宮田遺跡・芥川遺跡が知られていますが、本格的に調査された遺跡が少なく、土器などの出土量が限られることから移動しながら、小集団で狩猟・採集生活していたことが考えられます。

弥生時代では、三島地方で最初に米作りがおこなわれた安満遺跡が早くから知られています。昭和3年、京都大学附属農場建設で発見され出土した土器の研究から、北九州で始まった弥生文化がいち早く近畿地方に伝わったことが明らかになっています。そのほか、銅鐸が出土した天神山遺跡や、日吉台丘陵上に造られた古曾部・芝谷遺跡、日吉台丘陵の東斜面に広がる紅茸山遺跡など多くの遺跡が知られています。

古墳時代では、真の継体天皇陵とされる今城塚古墳や、藤原鎌足墓と推測される阿武山古墳など大小400基の古墳がつくられています。中でも今城塚古墳は大阪北部地域で最大規模を誇り、発掘された埴輪<sup>きいし</sup>祭壇は、武人<sup>みこ</sup>・巫女<sup>こ</sup>・力士などの人物、馬・牛・鶏などの動物が、宮殿と推測される建物を中心に配置され、大王陵の祭祀を再現したものと注目されています。

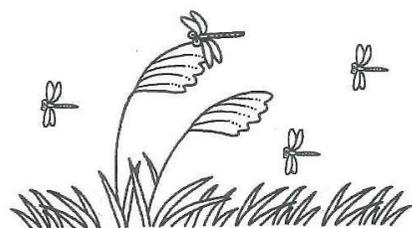
奈良時代から平安時代では、川西地区に地方の役所として嶋上郡衙<sup>ぐんが</sup>が置かれ、郡司には「三島<sup>あがたぬし</sup>県主」一族が任命されていました。郡衙は政務をおこなう郡庁院、宿泊施設である館舎、食事をつくる<sup>くりや</sup>厨、税を収める正倉などが南側の山陽道に向かって配置されていました。さらに周囲には、北に<sup>しきないしや</sup>式内社の阿久<sup>あく</sup>刀神社が、西に芥川廃寺が造られ古代氏族の繁栄を見ることができます。市内を東西に走る山陽道は、奈良時代に作られた7つの官道の1つで、平城京と太宰府をむすぶ最も重要な幹線道路で、現在の国道1号線にあたります。

戦国時代では、桜公園の東側に三好山と呼ばれる芥川山城があります。16世紀中

頃、阿波の武将であった三好長慶が一時期城主となり、摂津周辺を支配下に置いて「芥川政権」を樹立したことが知られています。

江戸時代では、高槻城と芥川宿・富田寺内町などがあります。西国街道が東西に走る高槻市は、三島地域の政治・経済・文化の中心であったことから、石垣造りの近世城郭である高槻城が築かれていました。しかし、明治時代の初め、鉄道建設のため石垣が取り壊され、残念ながら今では当時の姿を見ることができません。大阪府下には高槻城のほか、岸和田城・大坂城が江戸時代に築かれた新しい城であったことはあまり知られていません。

高槻市ではこれまで多くの遺跡の調査がおこなわれてきました。出土した資料は、高槻市立埋蔵文化財調査センターで保管し、順次整理されています。そして、整理・保存処理ができた出土品などは、今城塚古代歴史館やしろあと歴史館で展示公開されています。また、発掘調査した遺跡で特に重要なものは、現地で保存がおこなわれ、ハニワ工場公園や安満宮山古墳では、調査した状態の遺構を直接見学することができます。何かの機会に、古代の遺跡や遺物を見学していただければ幸いです。



## レクリエーションの勉強会を開催

通所介護職員 新井裕子

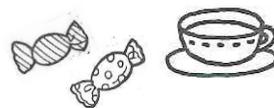
デイサービスのスタッフとして、来所される利用者の皆さんにどうすれば楽しく過ごしていただけるだろう、もっとレクリエーションのレパートリーを増やしたいと思っていました。

法人内で事業所の枠を越えての勉強会をすることになり、テーマのひとつとして『レクリエーション』を提案し、8月17日(水)の夕方、利用者が帰宅された後のデイサービスで、第1回目の勉強会を開催しました。

くらし創造の家 朋(とも)やあすなろ、訪問介護などから8名の参加で、各部署で実際に行なっているレクリエーションや利用者

の様子などをきく事ができ、とても参考になりました。「その日の利用者の方とみんなでしないといけない！」という思いから、皆で楽しめるレクリエーションとは？と悩んでいましたが、勉強会で他の参加者のお話をきき、個別でかかわることは間違っていないだと改めて感じる事ができました。

お茶を飲みながら、いつもとは少し違った雰囲気勉強会はとてもよかったです。こうした勉強会を、第2回、第3回と続けていければと思っています。



## 9月のあんしんサロンから

去る9月11の日曜日に、くらし創造の家 朋(とも)で第45回サロンが開催されました。今回のサロンは初めて、ゲストなしのフリートークという形で実施しました。それは、これまでのようにゲストを招いてそのお話を聞くというスタイルだと、どうしても、その後の語らいもゲストの話への質疑応答の延長となり、サロン本来の「自由な語らい」となりにくい面があったためです。

今回は初めての試みということもあり、「忘れられない出会い～人・書物・映画・美術作品・歌 などなど」というテーマ設定をおこないましたが、結果的には、余りテーマに沿った話とはならず、ある方の「疎開で移り住んだのが高槻に住むようになったきっかけ」という個人史から昔の高槻の話になり、これまで余り聞けなかった参加者個

人のバックグラウンドを少しかいま見ることができました。

また、第1回目からはほぼ毎回参加してくださっているYさんが、自身のペンネームである「みみずくの戯言」の名の由来や、それに関連しての「みみずくの置物」等のコレクションの話をしてくださったり、ある方は、野良猫の殺処分への疑問や怒りを熱っぽく語って下さいました。

最後に、Yさんのお知り合いでこの日初めて参加していただいたUさんが「ディスク・コントロール(ディスコン)」という競技を紹介してくださり、みんなで少しだけ実体験してこの日のサロンを終えました。

このフリートーク方式は、今後少なくとも3回位は続けるつもりでいます。

## 事業所だより

今年は35度以上の猛暑が続きましたが、利用者の皆さんは食欲もありお元気でした。今一番何が食べたいですか？とお尋ねすると、「私は桃」、「私は西瓜」、「鰻。それから焼ソバもええなあ」と次々に夏らしい食べ物の名前があがり、また、心に残る食べ物の思い出話も披露されて楽しいひとときを過ごしました。

## 訪問介護

妻として、母として毎日の家事をこなすIさん。病気のために転倒しやすくなり、怪我をして病院に行くことが度々ありました。本人と家族、ケアマネや介護職、作業療法士、福祉用具の担当者、往診のドクターなどIさんに係わる様々な人が集まり、Iさんの日常生活がより安全になるように話し合いが行われました。

そうして取付けられることになった手摺は、Iさんの体格や動線に合わせてぴったりの位置にあり、冷蔵庫の横には、扉の開閉や食品

## 通所介護

暑さで散歩に行けないので、室内で壁画作りに取り組みました。夏の盛りには太陽に照らされた大輪のひまわり。残暑の時期には障子紙を赤や紫に染めた朝顔。今は、大きなお月様の前に桔梗の花やすすきを持って並ぶ6羽のかわいいうさぎが壁に飾られています。



の出し入れがスムーズにできるよう、天井から床までの突っ張り式の手摺が設置されています。手摺の色や素材は、周囲の壁や家具に合わせて選ばれているので、自然な形で部屋の中に溶けこんで家族にも好評です。

複数のケアワーカーから「近頃Iさんの笑顔が多くなった！」と報告を受けています。手摺の効果かもしれないと思って嬉しくなりました。

## くらし創造の家 朋(とも) 生活介護

長かった梅雨がようやく明けた7月下旬、生活介護では皆でお買いものツアーに出かけました。家から500円を持ってきてもらい、スーパーのフードコーナーで各々好きなスイーツを注文して食べるというイベントです。散歩には皆でよく行きますが、スーパーまで出かける機会はあまりなく、中には初めてという利用者もおられました。

Hさんは「いちごとチョコレートののったクレープにしようか、それともバニラのアイスにしようか。迷っちゃうな」と500円を握りしめてあれこれ考えていました。自分で自分の好きな物を選んで買う楽しさを満喫することができました。



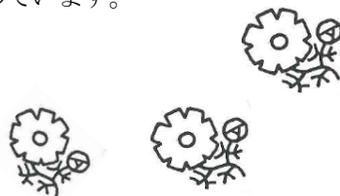
## くらし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護 くらし創造の家 朋(とも)は9年目を迎え、様々な支援を行ってきました。そんな中、今年は看取りのケアを経験しました。

Iさんは一人暮らしで、息子夫妻・往診医・看護師・職員とカンファレンスを何度も行いました。「いつもと変わらない生活を送りたい」という家族の強い希望もあり、ムードメーカーでとてもお話が好きだったIさんが寂しくない様にと、個室ではなくいつも皆の顔が見え、声が聞こえる場所で過ごしてい

いただきました。だんだん食事も摂れなくなり、弱っていく姿を見るのはとてもつらい想いでしたが、誰かがいつも傍にいて、話し掛け、今まで一緒に過ごした職員や利用者の中で、最期を迎えられました。

ご家族の方から「朋(とも)と出会えて、最後の時をここで過ごせた事を感謝しています」と言葉を頂き、今後の支援にも繋げていけたらと思っています。



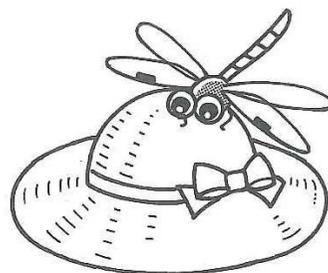
## あすなろ 小規模多機能型居宅介護

夏のあすなろは、窓から見える緑いっぱい公園から、ミンミンと毎日蝉の鳴き声に包まれていました。網戸に蝉がとまっているのを見つけては、「あ！蝉がとまっている！」と言ってみんなで眺めていました。

先日、おやつのお時間におはぎを作ることになりました。利用者のSさんにおはぎ作りの手伝いをお願いすると、快く引き受けてくださいました。「昔はあんこをかたーく炊いて作ったもんだわ」と言って、手袋をして少々柔らかめのあんこを包みながら手際よく手伝

ってくださいました。

MさんやTさんには、食器洗いに参加していただく事もあります。流石、人生の先輩方！主婦業は手際よく、あつという間に片付けてしまいます。利用者さんから教えていただくことが沢山あり、有難いこととしみじみ感じています。



## 上田泰典さんを偲ぶ

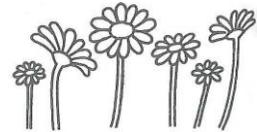
地域交流センター あすなろ 石名田 真人

小規模多機能型居宅介護「あすなろ」に併設された地域交流センターも一年過ぎ、「われもこう」に活動報告をと準備していた矢先、その第一号に上田泰典さんの追悼文を書くことになろうとは思ってもみないことでした。

上田泰典さんは日吉台連合自治会長、同自主防災会長、同街づくり会長と、地域の要の人でした。日吉台に「あすなろ」を立上げるべく計画したときに、真っ先にご相談させてもらったのが上田泰典さんでした。それ以来のお付き合いということになりますが、計画から2年余りの短期間でオープン、更に運営推進委員にもなっただき、地元密着型の事業をめざす我々にとって大変心強い味方でした。

8月14日のご葬儀で、長男さんが「親父はいつも”男一匹”と言っていた」とご挨拶されました。7,000余の大世帯地区を“男一匹”を胸に秘め、まとめてこられたのかと、その苦労の一端を見る思いがしました。

ご冥福をお祈りすると共に、我々も感謝の気持ちで「あすなろ」の地域交流センター事業の充実を目指して頑張りたいと思います。



## 物品販売にご協力ください

### □コーヒー（豆、挽）

焙煎工房タイムリーのティールームで使用している特別焙煎豆

1kg:1,700円 500g:850円

### □産直りんご

長野県の岩下りんご園から秋の味覚

\*シナノスイートやシナノゴールド

(10月10日～)ご相談ください

\*サンふじ

(11月10日～)ご相談ください

\*りんごジュース

1箱6本入り 4,200円

### □泉州産塩わかめ・莖わかめ佃煮

130g 300円

### □おとひめこんぶ

北海道樺法華村の黒口浜一帯で育成された真昆布一年物です。

1袋:500円

### □島原手延べ素麺 眉山の糸

長崎県島原市の白山製麺製です。

1kg～5kg : 1,200円～5,300円

\*高槻市、茨木市、島本町、枚方市は送料  
無料（その他の地域は実費）

### □手作り豆腐製品

豆腐、厚あげ、がんもどき、おから、豆乳等々。箕面市桜井の『おとうふ工房ちまちま』から、隔週火曜日に明田町の事務所  
に取寄せています。お手頃価格です。

※ 詳細お問い合わせください。

## サービス提供実績報告 (2016年6月～8月)

## ◇社会福祉法人

## 《訪問介護》

利用件数	2,534 件
利用時間	2,022.05 時間
生活援助	1,144.47 時間
身体介護	877.58 時間

## 《介護予防訪問介護》

利用件数	1,132 件
利用時間	1,112.91 時間

## 《ケアワーカー派遣サービス》

利用件数	448 件
利用時間	437.0 時間
家事援助	300.0 時間
身辺ケア	52.5 時間
社会的援助	84.5 時間

## ◇特定非営利活動法人

## 《福祉移送サービス》

利用件数	29 件
利用時間	1,850 分
利用距離	572 km

## 《障害福祉・居宅介護》

利用件数	3,226 件
利用時間	3,050.50 時間
家事援助	1,432.00 時間
身体介護	1,618.50 時間
通院介助	244.00 時間

## 《重度訪問介護》

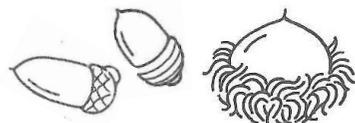
利用件数	175 件
利用時間	312.50 時間

## 《同行援護》

利用件数	282 件
利用時間	622.00 時間

## 《移動支援》

利用件数	620 件
利用時間	1,798.5 時間



## 食の文化祭

10月15日(土) 10:00～17:00

城跡公園 社会貢献の広場に出店

今年で8回目を迎える『食の文化祭～高槻ジャズ&グルメフェア 2016』が、10月15日(土)と16日(日)の2日間、高槻市立第一中学校グラウンドおよび高槻城跡公園一帯で開催されます。高槻ライフケア協会は、10月15日(土)、城跡公園内の社会貢献の広場にブースを出して協会の事業を紹介し、リサイクル品やコーヒー(ホット・アイス)の他、今

年も大阪泉州産の塩わかめを販売します。

ジャズの生演奏を聴きながら高槻の食を楽しむ秋のお祭りです。地元の隠れた特産物や名店の味に出会えるかもしれません。

秋の休日、散歩がてら会場に足を運ばれてはどうでしょうか。高槻ライフケア協会のブースにも、是非お立ち寄りください。

## あんしんサロンのご案内 ～どなたでもご参加いただけます～

10月、11月のあんしんサロンはフリートークをおこないます。

・10月9日(日) 14:00～16:00

テーマ 「最近嬉しかったこと・悲しかったこと そして、腹がたったこと」

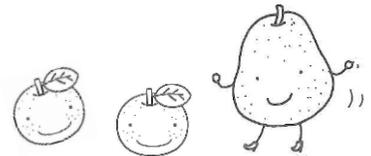
・11月13日(日) 14:00～16:00

テーマ 「最近ちょっと疑問に思っていること」

会場はくらし創造の家 朋(とも)2階の多目的室、参加費(茶菓代)100円です。

テーマは設定していますが、あまりこだわらず皆で話に花を咲かせましょう。

### ご協力に感謝します (敬称略・順不同)



<社会福祉法人> 2016年6月1日～9月25日

◇寄附金 2016年度累計 556,000円

山縣美智恵、森本菜摘、池田繁、野口直美、毛戸裕子、三俣玲子、丸岡トシミ、為ヶ谷奈穂美、古元美枝子、土井景子、新井裕子、高橋郁子、嶋田君子、川戸初子、岡本哲史、村上雅子、坂本和世、大西將太、古井ひとみ、西嶋和子、赤松裕子、下山節庫、小島由美子、下村真理子、牧口明、濱田了子、清家広明。

◇寄贈

野口直美、小川裕美子、土井景子、長谷川ゆり、安見次生、田尻忠吉、井上吉弘、大西將太、井坂今子。

◎社会福祉法人高槻ライフケア協会への寄附金は、確定申告の際、税額控除制度の適用を受けることができます

<NPO法人> 2016年6月1日～9月25日

◇後援会費 2016年度累計 290,000円

個人会員 : 瑞野紳子、布施和生、植田佳代、三好弘子、牧野美保子、實島けい子、中島脩(恵子)、米津廣子、大槻

信子、天濃紀久子、久保恵子、宮地裕美、三原道恵、赤木すづ子、清家広明。

◇寄附金 2016年度累計 43,000円

中島脩(恵子)。



### 【編集後記】

台風一過の翌朝、水嵩を増して濁った流れの芥川の堤防を自転車で走りました。色褪せた草むらから虫の音が響き、対岸の土手には群生の蔓珠沙華が朱く咲いていました。すれ違った円背の女性は子犬の散歩中で、道すがら手折ったのか手にはすすきが数本握られています。いつまでも暑さの続く9月でしたが、それでも季節は着実に移ろっていくようです。

社会福祉法人高槻ライフケア協会

特定非営利活動法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町5-7

〒569-0802 高槻市北園町4-19

TEL (072) 683-4945

TEL (072) 682-4119